

☆平成29年度「新之助」出荷反省会☆

12月18日に、平成29年度「新之助」出荷反省会が行われ、新之助の生産者約40名が参加をしました。参加者は29年産米の作柄結果を踏まえ、30年産米の作付けに向けた課題を確認し合いました。普及センターの担当者からは「8月下旬以降の低温・日照不足が影響し、登熟の日数が掛かってしまい、刈り取り時期が予定より遅れてしまった。そのため、刈り取り時期の判断が難しかった」と講評していました。



☆平成29年度 佐渡米作柄対策研修会☆

12月21日に、「平成29年度 佐渡米作柄対策研修会」が行われ、新潟県・佐渡市・JA役職員・生産者ら約100名が参加をしました。この研修会では普及センターより29年産米の作柄結果について講評があり、参加者は30年産米の品質向上に向けた重点課題と技術対策について確認し合いました。また、出荷したお米の1等米比率が100%だった生産者には「1等米100%ステッカー」と「認定証」が手渡されました。



29年産米で1等米比率100%となった生産者に配布された「1等米100%ステッカー」



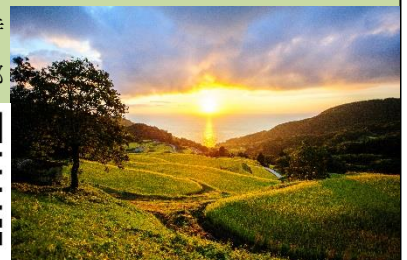
旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
皆様のご健康と貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。
本年も変わらぬお引き立ての程、宜しく
お願い申し上げます。



☆GIAHS ブランドマーク公募中☆

佐渡市が国連食糧農業機関FAOから「世界農業遺産」の認定を受けて6年が経過しました。2015年にはFAOの正式なプログラムとなり、2017年にはヨーロッパでは初めてスペインの2地域が認定されるなど、これから世界的にもその認知度が高まっていくと想定されます。

これを契機に、佐渡の豊かな里山里海で育まれる農林水産物や、それらを活用して生産される加工品等の販売を通じて、世界農業遺産の認知度を更に高めるため、佐渡における世界農業遺産のオリジナルブランドマークのデザインを公募しています。募集期間は1月10日(水)から2月20日(火)17時必着として、電子メールもしくは郵送で応募を受け付けています。



JA 佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」

で佐渡の情報が見られます。

<https://www.facebook.com/jasadotanbo>



※QRコードについてはこちら⇒

JA 佐渡 HP やフェイスブック・ツイッター・g+でも佐渡の情報が見られます

詳しい応募条件等は、こちらのQRコードをご覧ください。

編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 山田・藤巻
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成30年1月